

# ポーポキ通信 No.14 2006.11.22

寒くなってしまいました。いかがお過ごしでしょうか。

## NEW ポーポキ・ピース・プレゼント

————— 様  
ピース・プレゼントのお知らせ

————— 様より『ポーポキのピース・ブック』の申し込みをいただきましたので事前にご連絡いたします。絵本の完成後にお送りします。



『ポーポキのピース・ブック』の編集はもう少し時間がかかりそうですが、ポーポキ平和基金を一口（1500円）で完成後の『ポーポキのピース・ブック』をお友達にプレゼントできます。入金を確認したところでお知らせのハガキ（左）を届けさせていただきます。いかがでしょうか？

## ポーポキ・ピース・プロジェクト

〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9  
TEL 03-3454-5859 Fax 03-3454-9800  
URL <http://popoki.cruisejapan.com>  
メール [popokipeace@yahoo.co.jp](mailto:popokipeace@yahoo.co.jp)



## 国連人口基金東京事務所でポーポキ・ワークショップ (2006. 10.27)

ポーポキと一緒に平和を考えて 国連人口基金東京事務所ボランティアスタッフ  
慶應義塾大学法学部政治学科 4年 迫田まゆ

「平和の定義は戦争のないこと？」「平和は何色？」「平和には何が大切？」  
平和とは何かということ言葉だけで考えることは難しいけれど、ポーポキの真似をしたり、ポーポキと一緒に暮らすピース・コミュニティを絵で表現したり、DVD を見ることで、「平和」というものを身近に考えることができました。



国連人口基金東京事務所の職員や、大学生や主婦など各々違った背景を持つボランティ

アスタッフが参加し、それぞれの「平和」に対する考え方や表現方法が異なっていて面白かったです。そして、その多様性を認め合い、お互いに尊重していくことが「平和」につながると実感しました。



ポーポキとロニー先生のように、毎日出会う相手を愛し、お互いに支えあうことから、平和というものが生まれてくることや、顔は見えなくとも相手を思いやることの大切さを教えてもらいました。ロニー先生のように平和の輪を広げる人に私もなりた

いと思いました。ロニー先生、ポーポキ、ありがとう。

ロニーよりの一言：このワークショップはUNFPAのHPIにも掲載されています。ぜひご覧ください。UNFPAのリンク <http://www.unfpa.or.jp/2-7.html#27>

トップページ <http://www.unfpa.or.jp/index.html>

今回はUNFPAのために「ポーポキと一緒に作るピース・コミュニティ」というワークショップ・テーマを加えてみました。あなたならどのような「家庭」、「家族」、「住まい」などをつくれますか？

### 日本 YMCA 総主事会議でワークショップ (2006. 10.12 六甲山 YMCA)

ポーポキワークショップに参加して (岡山YMCA総主事 太田 QSAN)

私は、太田直宏(ただひろ)。娘は「ひかり」という。「太田ひかり」、そうあの爆笑問題のひとりと同姓同名なのだ。その太田光氏が最近対談集を出版し、評判を呼んでいる。「憲法9条を世界遺産に」というのがそのタイトルである。



「歴史の奇蹟の一瞬が誕生させた憲法9条」という

事実に感銘を受けた。読後ポーポキのことを考えるようになった。私たちのまわりには無数の命が存在する。それぞれの命はどれも「一瞬の奇蹟の産物」である。無数の可能性の組み 合わせから選ばれ、受け継がれてきたどの命のバトンも守られるべきである、そんなことをポーポキは教え



てくれた。娘の名前「ひかり」は、「あなたたちは世の光である」という聖書の言葉からいただいた。「神さまの光に照らされて、輝きを放つものでありたい。そのために自分の出来ることから始めていこう」そんなことを考えて、自分の住む町の「9条の会」に加わった。願わくは、わたしも平和のひとかけら、piece of peace としてください。



ロニーより：総主事会議では、YMCA「ポーポキ・ピース・フレンズ」のワークショップをしま

した。日本の各YMCAが海外のパートナーYMCAに声をかけ、一緒に参加するといっそうこの取り組みは広がると思います。ぜひご参加ください。詳しくは日本YMCA同盟まで。

## 立命館大学国際平和ミュージアム報告

### 「平和って なに色?」文字・活字文化の日 特別企画（久保 裕之）

10月27日は「文字・活字文化の日」。国民の間に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めることを目的として2005年に定められた日です。立命館大学国際平和ミュージアムと同大学白川静記念東洋文字文化研究所（白川研）とは、平和と言葉について考え、表現しようという催し「平和ってなに色? 文字・活字文化の日 特別企画」を2006年10月27日～11月5日に行いました。

#### 「平和って なに色?」ピース メッセージ

ロニーさんが愛猫のポーポキを通して考えた平和の意味を私たちに問いかけた「ピースメッセージ」のDVDを放映しました。

「ポーポキには いろんな色の仲間がいる それは平和 かもしれない」

「『～らしくない』ことが どうどうと できるのは 平和?」



このような、肩肘を張らない、身近な事柄から平和について思いを巡らせたメッセージに、見学者は見入っていました。

#### 「一字で表す平和へのメッセージ」

平和への思いを表す方法は様々ですが、この催しでは、一字とその字にこめた平和へのメッセージを「ピース メッセージ」の中の言葉「平和も しましまもようとか にじのような色 かもしれませぬ」にちなんで、七色のカードに書いてもらいました。

漢字やアルファベット、外国の方からは「一語」が寄せられ（漢字も一字一語です）、集まったおよそ400のメッセージを壁に貼り合わせて平和の虹を作りました。

メッセージを書いてくださった方には、色の名前 10種類の漢字について、古代文字やその成り立ち等を解説した白川研制作の「平和って なに色?」漢字カードを1枚ずつ差し上げました。

#### 「メッセージ」まとめ 総数 427

##### ランキングとコメント

- ① 命(63)…今はかんたんに命をおとす人もいるけど、そんな事をせずに大切にしたいから（小学生）
- ② 愛(32)…めぐみさんを愛しているのよ。（大学生）
- ③ 心(30)…一人一人の心がつながってこそ平和はうまれると思ったから（中学生）

④生(27)…命は宝です。無限の可能性があります。一人一人が与えられた生を最大限に発揮したいと願います。(一般)

⑤安(23)…一人一人がみんな安心してらせるように「安心」「安らぎ」の「安」(小学生)

⑥夢(21)…戦争にいく人の顔はみんなつらそうで夢がないようなかんじがしました。でも今の私には夢があります。(小学生)

⑦幸(20)…今は戦争で人々が苦しんでいるから、平和になれば喜び幸せになっていく未来になってほしいから(小学生)

⑧平(18)…みんなが平等に平和に生きてほしいから(小学生)

⑨笑(12)…今苦しくても笑って生きればのりこえられそう。(小学生)

⑩人(11)…平和をこわすのも創るのも人。そして平和を求めているのも人だから。みんなが他の人のことを考えられる世の中を作る手助けをしたい。(一般)



#### その他

遊…あそぶことも大切(小学生)、心の開放(一般)

外…平和の根幹は自分「内」の枠組を超えて、「外」他者との関わりを真剣に考えること(大学生)

認…すべての人が違いを認めることで平和に近づけると思うから(中学生)

明…戦争が有る国の住民が、明日をめざして生きる姿をうかべた。(小学生)

学…もっと知って欲しい。世界ではこんなことが起こっていることを。いつの時も人間は学ばなければならない。…(一般)

葉…「くさかんむり」に「世界」に「木」。葉はいのちのしるし、みなもと。

UNDERSTANDING(英語・理解)… Bridges difference(違いを乗り越える)(一般)

AZUL(スペイン語・青)…ME RELAJA, ME TRANQUILIZA(くつろがせ、落ち着かせる)(一般)

会期中の見学者数が多かったこともありますが、小学生の皆さんが多くのメッセージを寄せてくださいました。またコメントも振るっています。頼もしさを覚えるとともに、彼らがこの気持ちを持ち続けられる環境を整えることが、やがて彼らに世界を引き渡す大人の責務であると痛感しました。

ロニーより 私は姉を連れて観にいきました(上の写真の前方右)。一字だけでも、豊富な平和が伝わってきます。大きな希望と元気をいただきました。どうもありがとう!

# 私にとってのポーポキ



2004年の夏に田村さんが  
写したポーポキちゃん。

神戸大学大学院国際協力研究科  
トランスナショナル関係論ゼミ

田村かすみ

ポーポキが動き出した！この場を共有するすべての人の中にポーちゃんはある！ポーポキのアクティビティ参加者1人ひとりの心の中のポーポキが動き出した瞬間を

私は目撃しました。

ロニー・アレキサンダー先生の人生のパートナー、ポーポキを初めて知ったのは、初めて先生の研究室を訪ねた春のことでした。「田村さんちの猫は確かにかわいい。でも、ポーちゃんが一番かわいい！」と、先生は勝手に猫ランキングを始めました。ポーポキは先生以外の誰にも懐かないと、先生のお留守を守るポーポキ番ゼミ生は嘆いたものです。

その後、ポーポキと先生の静かなお別れがやってきました。先生の苦しみ、悲しみがどれくらい深いものであるのかが分かっていた私たちゼミ生は、先生をも失うのではないかとずいぶん心配しました。

しかし、先生の絵本の中でポーポキはお茶目で賢く、行動的な猫として蘇りました。そしてポーポキが導いてくれるアクティビティは、参加者が具体的な日常生活の中の平和をリラックスしながら考える機会を提供してくれます。

ポーポキと先生の緊密な信頼関係は、このような形で人々の心に広がっていきましました。もしかしたら、元々誰の心の中にもポーポキは住んでいたのかもしれないね。

ポーポキを抱きしめることはもうできません。しかし、ポーポキは人々の心の中で「平和を求める心」の案内役として行動を始めています。

もう寂しくないよ。ポーポキ、ありがとう。



写真は今年11月3日、大阪桐蔭中学校文化祭のTOIN PEACE PROJECT IIの様子です。つまり私が指導したエッセイコンテストの展示、JICA大阪で研修員さんと一緒に描いたピースタウンなどの展示会場です。

(ロニーより 田村さんは、ポーポキのことを含めて精力的に教室の内外で平和の授業を展開しています。お忙しいのに、原稿をありがとう！)

ピースタウンの展示会場です。



<http://popoki.cruisejapan.com>

ポーポキ・ピース・プロジェクト

(東京事務所 港区芝 1-4-9 平和博物館を創る会 03-3454-5859)

郵便振替口座番号 00170-9-593927 ・ 口座名称 ポーポキ・ピース・プロジェクト

ポーポキ平和募金は一円 1500 円。何円でも結構です。  
(なお、円数・金額にかかわらず、本はひとり1冊となります。ご了承ください。また、友だち同士や家族でまとめて2円以上お送りくださる場合は、参加人数か参加者名を「通信欄」に明記ください。)



お友たちにも声をかけてくださいね！